

西暦二〇一九年の皆様に一言ごあいさつを申し上げます。

平成元年（一九八九年）は、塩尻市にとって、市制施行三〇周年を迎えた記念すべき年となりました。

間近となった二一世紀を展望し、未来への夢を語り合うために、現在「ふるさとピア30」をタイトルとして、市民総参加の記念事業を進めております。

このタイムカプセル埋設も、記念事業の一環として企画され、未来を担う子ども達を中心に多くの市民の協力をいただくなかで実施をいたしました。

このタイムカプセルの中には、子ども達の寄せ書きや手紙をはじめ記念の品々が収納されており、三〇年の昔を偲ぶよすがとなることと確信します。

さて、作今、塩尻市をとりまく情勢は、長野自動車道の開通松本空港ジェット化整備計画の進展、工場団地の相次ぐ造成など目まぐるしく変動しております。産業の高度化、情報化が著しく進む中で安全快適なまち、文化の香り高いまちづくりを目指して、都市基盤整備、教育文化施設の整備など未来に向けた都市づくりが急速に進みつつあります。三〇年後にはさらに技術革新がすすみ、市の姿も大いに変容し活気に満ちた緑豊かな美しい塩尻市をイメージすることができます。どうか、私をはじめ多くの市民が望んでいる理想のふるさと「ふるさとピア」を創り出すため一層のご尽力をお願い申し上げます。

最後に、塩尻市の益々の飛躍と市民の皆様のご健勝を心より祈念しごあいさついたします。

平成元年九月二八日

塩尻市長 小野 光 洪

